

南三陸町立伊里前小学校 6年生

総合的な学習の時間「ふるさとの未来を考えよう」（講師：小野寺寛さん）

講話「歌津(南三陸町)の歴史」 令和3年5月17日(月)

「ふるさとの未来を考えよう」の学習で、小野寺寛さんから、6年生の知りたいことを中心に、南三陸町の産業や震災後のまちづくりについて話を聞きました。

「歌津で盛んな産業といえば？」と尋ねられると、「漁業」と答えた子が多く、海の町という印象が強かった子供たちでしたが、話を聞くにつれて、様々な産業が盛んであったことが分かりました。金の産業が盛んで、田束山付近では「本吉金」が採れたことや、林業が盛んで昔は肥料や燃料、木材としての需要が高かったこと、様々な産業が盛んであったことを知りました。さらに、漁業でも、冷蔵のできない時代には干物が盛んだったことや、のりの養殖が盛んだったことも教えていただきました。



昔はのりの養殖も盛んだったのか。ワカメ養殖なら知っているけど・・・



伊達政宗から、南三陸杉の要請があったなんてすごいな！



分かったことをたくさんメモしました。